

提供日 2020 /5/12

タイトル 静岡県立大学が新型コロナウイルス感染症による学生生活への影響について調査を実施

担当 静岡県公立大学法人 静岡県立大学
国際関係学部 津富宏



静岡県立大学記者提供資料

静岡県立大学が新型コロナウイルス感染症の学生生活への影響について調査を実施

静岡県立大学では、新型コロナウイルス感染症拡大が学生生活にどのような影響を与えているか、学生がどのような不安を抱き、大学に対してどのような期待を寄せているかに関する調査を4月24日から5月1日にかけて行いました。学生の過半数にあたる1604名の方が回答を寄せ、感染の不安が高くオンライン授業に切り替えたことに対しては好意的である一方、オンライン授業受講に当たっての不安、アルバイトの中止による経済的不安、また、構内立ち入り禁止による研究活動やクラブ・サークル活動への不安が明らかとなりました。主な調査結果は以下の通りです。

【調査結果の要点】

1 学生全体の傾向として目立つこと

- ・感染に対する不安(特に、感染後誰かにうつさないかという不安)
- ・公共交通機関の利用に対する不安(に伴う登校不安)
- ・オンライン授業を含む種々の授業に対する不安(教員からの連絡不足など)
- ・交友関係やメンタルヘルスの悪化に対する不安
- ・アルバイト(や保護者)の収入減少

2 「誰一人取り残さない」という観点から配慮を必要とすること

- ・wifi環境についての不安
- ・収入減による学業継続困難についての不安
- ・家族をはじめ、同居している人との人間関係に関する不安
- ・一人暮らしで孤立しないかという不安
- ・カウンセリングなどを受けられないことに対する不安
- ・1年生の学生生活になじめるのかという不安

結果は県立大学のホームページで公表されています。今後、アンケート結果は、大学の対策に活用される予定です。

報道機関の皆様におかれましては、周知へのご協力をよろしくお願いいたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 国際関係学部 津 富 宏

メールアドレス tsutomi(ここに@を入れる)u-shizuoka-ken.ac.jp